



モ ルックで深める世代間交流

8月5日、日頃から地域美化活動に取り組む赤倉サロンの皆さんへの感謝を込め、「赤倉さいだー」の売上を活用した世代間交流イベントが開催されました。参加者から寄せられた「子どもたちと触れ合いたい」という声をきっかけに実現したモルック大会では、「孫 vs 祖父母」の対戦が繰り広げられ、笑顔と歓声があふれました。世代を超えた交流を通して、地域の絆を深める機会となりました。

大 場あや上越教育大学助教に 絆大使を委嘱しました。

8月12日、上越教育大学助教の大場あや氏に、34人目となる「絆大使」の委嘱状を交付しました。宗教社会学や葬制研究が専門の大場氏は、最上町の「契約講」を研究対象とした著書『葬制変容と生活改善 戦後地域社会の住民組織と新生活運動』を出版されています。

令和8年4月より、同大学院学校教育研究科の助教としてご活躍中です。今後、大場氏の専門的な視点を通じた本町の魅力発信や、絆の深まりが期待されます。



夏休みの居場所「もがみんパーク」に子どもたちが集う！



夏休み期間中、中央公民館で「もがみんパーク」が開催されました。夏休み中の子どもたちが安心して過ごせる居場所として企画されたもので、学童を利用していない子どもたちも気軽に参加。会場にはボードゲームや大型トランポリンなどが用意され、子どもたちは友だちと一緒に思い思いの時間を楽しみました。

ボードゲームではルールを教え合いながら真剣勝負を繰り広げ、大型トランポリンでは元気いっぱいに体を動かす姿が見られました。厳しい暑さが続き、屋外で思い切り遊ぶことが難しい今年の夏。涼しい室内で友だちと遊び、交流を深められる「もがみんパーク」は、子どもたちにとって夏休みの思い出の一つとなったようです。

大場かおりさん（赤倉三）が 町教育委員に再任されました

町議会6月定例会において教育委員選任の同意を受けた大場かおりさんに辞令が交付されました。任期は7月1日から4年間です。大場さんは、令和5年から保護者委員を務められ今回2期目となります。今後も町の教育振興のためによりしくお願いします。



まちトピ town topic



最 上町消防団実践操法訓練会 が行われました

7月5日、最上広域消防東支署防災広場において最上町消防団実践操法訓練会を開催しました。今年は、従来の操法大会に代わり、全12分団がそれぞれ想定した火災状況に応じて、安全かつ迅速な初期消火活動を実践することを目的とした「実践操法訓練会」として実施しました。当日は、約2週間にわたり各分団が訓練を重ねて磨き上げた操法技術を披露し、実践的な消火技術の向上と、今後の消防活動につながる有意義な訓練会となりました。

東

北各県から約350人が前森高原を歩く

7月11日、前森高原で「第64回東北地区スポーツ推進委員研修会山形県大会実技研修会」が開催され、東北各県から約350人が参加しました。研修テーマは、「高原軽ウォーキング」で、講師を務めた「健康アップウォーキング教室・新庄」代表 三原茂氏らを先頭に、4kmコースを歩き、正しい歩行法と基礎知識を学びました。

全員が暑さの中でもこまめに水分補給を行いながら無事完歩。研修後は地元特産品販売やキッチンカーも好評で、前森高原の魅力を感じられる充実した研修会となりました。



新

庄志誠館高校最上校で 選挙啓発出前講座

7月14日、最上町選挙管理委員会が新庄志誠館高校最上校の全校生徒を対象に、選挙啓発出前講座を行いました。選挙を身近に感じてもらうため、選挙制度の説明や模擬投票を通じて、選挙の大切さや投票方法を学習してもらいました。若者の選挙離れを防ぐため、今後も啓発活動を継続していきます。9月6日は最上町長選挙及び最上町議会議員補欠選挙の投票日です。有権者の皆様は大切な一票を忘れずに投じましょう。



火

をおこし、食を学ぶ一日

7月25日、大場満郎冒険学校で放課後子ども教室「ワイルドエドベンチャースクール」が開催されました。当日は雨天のため、予定していた野菜収穫や川遊びに代わり、収穫した野菜を使ったカレー作りや火おこし体験、クマについて学ぶ講話を実施。親子4組が参加し、大場満郎さんをはじめ地域サポーターの皆さんと交流しながら、食と自然について学びました。子どもたちは火おこしにも夢中で挑戦し、笑顔あふれる一日となりました。

